

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00141)

事務事業名称		まちの湯ふれあい入浴			款	04	項	01	目	02	事業	010	整理番号	156	
現担当課名		高齢者施策課			係名	いきがい活動支援係			連絡先電話番号	1165		昨年度整理番号	150		
上位施策No・施策名										13 高齢者の社会参加の支援		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和49年度													
	平成29年度担当課名	高齢者施策課											事業評価区分	一般	
	対象	入浴事業は65歳以上の区民と付添者、健康事業は60歳以上の区民			根拠法令等	(1)	老人福祉法第4条第1項及び第13条第1項		(2)	杉並区ふれあい入浴実施要綱 杉並区まちの湯健康事業実施要綱					
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	ふれあい入浴を利用し、公衆浴場が、高齢者同士の親睦を深め、社会参加や交流を広げることができる憩いの場となるようにする。 まちの湯健康事業に高齢者が参加することを通じて、リフレッシュはもとより、健康増進が図られ、介護予防につながるようにする。			活動指標	ふれあい入浴年間実施回数									
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	ふれあい入浴：毎週水曜日(一部火曜日)に各浴場の決められた時間帯(2時間)を低価格(ワンコイン)で開放する。 まちの湯健康事業：月1~2回、手ぬぐい体操などの健康事業を行う。実施後、参加者は低価格(ワンコイン)で入浴できる。本事業は、長寿応援ポイント対象事業である。			指標名(1)	まちの湯健康事業年間実施回数									
				成果指標	ふれあい入浴年間延べ利用者数										
				指標名(2)	まちの湯健康事業年間延べ参加者数										
				指標説明											
区分		単位	平成27年度実績	平成28年度計画	平成28年度実績	平成29年度計画(目標値)	平成29年度実績	平成30年度計画	平成29年度対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1	人	1,195	1,196	1,150	1,100	1,008	1,037	91.6					
	活動指標(2)	2	人	274	310	277	322	262	275	81.4					
	成果指標(1)	3	人	77,008	80,000	74,845	78,000	65,038	72,800	83.4					
	成果指標(2)	4	人	4,866	5,400	4,503	5,000	4,130	4,500	82.6					
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	45,618	47,608	44,273	43,906	39,267	43,501	平成29年度予算執行率(%)	89.4				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	45,568	47,501	44,185	43,837	39,209	43,481	ふれあい入浴、まちの湯健康事業の指標をより直接的な指標とするため見直しを行い、活動指標を利用者数から「実施回数」に、成果指標を1回あたりの利用者数から「利用者数」に変更しました。					
	職員数	常勤職員数	8	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	。予算執行率が90%を下回った理由は、実施浴場数が、廃業等により計画を下回ったことによります。				
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分	11	千円	2,624	2,624	2,569	2,569	2,577	2,577					
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費	14	千円	48,242	50,232	46,842	46,475	41,844	46,078						
	単位当たりコスト	15	円	40,370	42,000	40,732	42,250	41,512	44,434						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	4,380	4,380	3,880	4,380	3,505	4,055					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計		20	千円	4,380	4,380	3,880	4,380	3,505	4,055						
差引：一般財源		21	千円	43,862	45,852	42,962	42,095	38,339	42,023						
受益者負担比率	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	156
		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	ふれあい入浴の実施	1,008	回	32,659
		まちの湯健康事業の実施	262	回	6,550
		その他（ポスター・チラシ作成費ほか）			58
(2) 事業実績	<p>ふれあい入浴：毎年区内の公衆浴場数は減少しています。平成29年度末の事業実施浴場数は、平成28年度当初の23か所から19か所になりました。延べ利用者も9807人減少しました。 まちの湯健康事業：平成29年度は8月から実施浴場数が2か所減で、実施回数も15回減少しました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>区内の公衆浴場数は、昭和49年度111か所 平成23年度30か所 平成29年度末には22か所(改築休業1、事業停止1、組合非加盟1を含む)と減少しています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>ふれあい入浴・・・「自宅にお風呂があっても、広いお風呂は気持ちがいいので利用している。」 「一人暮らしの高齢者同士が銭湯で、互いに健康の確認をしあい、世間話をするのが楽しみになっている。」 「通院日と重なり、指定の曜日・時間帯に行くことができない。」といった声が寄せられています。 まちの湯健康事業・・・「とても良いので回数を増やしてほしい。」 「参加者が増え、体操に必要なスペースを脱衣所では確保しにくい。」といった声が寄せられています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>区内の公衆浴場はさらに減少する可能性があります。 ふれあい入浴は実施浴場の減少に伴い、利用者数も減少すると思われます。 まちの湯健康事業はリピーターを含む1浴場当たりの参加者数が増加し、脱衣場などを使用しているため安全な事業実施が難しくなる可能性があります。</p>			
評価と課題	<p>公衆浴場を使ったまちの湯健康事業は健康増進につながり、ふれあい入浴が高齢者同士の集いの場となることは、高齢者の社会参加につながります。 ふれあい入浴については、浴場減少により1浴場当たりの利用者数が増加し、混雑するなどの問題が生じていないか検証していきます。 まちの湯健康事業は、複数か所に参加しているリピーターが増えています。安全な事業実施と事業の周知について浴場組合と検討していきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>ふれあい入浴は実施浴場数の減少による影響等、各浴場の実態を把握しながら安全確保の検討・改善を進めていきます。 ふれあい入浴、まちの湯健康事業のリピーター以外の高齢者も利用しやすいよう、周知方法等について浴場組合と検討していきます。</p>			

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00142)

事務事業名称		風呂っと杉並			款	04	項	01	目	02	事業	011	整理番号	157
現担当課名		高齢者施策課			係名	いきがい活動支援係			連絡先電話番号	1164		昨年度整理番号	151	
上位施策No・施策名										13 高齢者の社会参加の支援		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成13年度												
	平成29年度担当課名	高齢者施策課			事業評価区分 一般									
	対象	60歳以上の区民 (平成26年度より、対象年齢を「50歳以上」から「60歳以上」に変更)			根拠法令等	(1)		杉並区風呂っと杉並事業補助金交付要綱						
						(2)		杉並区風呂っと杉並事業補助金補助基準						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	公衆浴場を、健康増進や生きがいを目的とした60歳以上の高齢者の自主グループに開放することで、高齢者の活動・交流を推進していく。			活動指標	指標名(1)		風呂っと杉並事業を実施する浴場数						
					指標名(2)									
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	区内の公衆浴場を60歳以上4名以上のグループに有料(利用料は浴場によって異なる)で開放し、自主的な活動や交流の拠点とする風呂っと杉並事業(杉並浴場組合自主事業)に要する経費について、運営費を助成する。			成果指標	指標名(1)		1所当たりの1か月の利用者数							
					指標名(2)		利用者数÷浴場数÷12か月							
					指標説明									
					指標説明									
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)					
指標	活動指標(1)	1 所	9	10	9	10	9	10	90.0					
	活動指標(2)	2												
	成果指標(1)	3 人	20.0	17	20.0	19	20.2	19	106.3					
	成果指標(2)	4												
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	3,478	3,545	3,413	3,545	3,432	3,545	平成29年度 予算執行率(%)	96.8				
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7 千円	0	0	0	0	0	0						
	職員数	常勤職員数	8 人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20					
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分	11 千円	1,749	1,749	1,712	1,712	1,718	1,718					
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	5,227	5,294	5,125	5,257	5,150	5,263						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	580,778	529,400	569,444	525,700	572,222	526,300						
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18 千円	1,760	1,772	1,760	1,772	1,773	1,772					
		その他の補助金等	19 千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	1,760	1,772	1,760	1,772	1,773	1,772						
差引:一般財源(14-20)		21 千円	3,467	3,522	3,365	3,485	3,377	3,491						
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	157	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		風呂っと杉並運営費補助	9	所	3,432	
		その他（ ）				
	(2) 事業実績	平成29年度は、9浴場で風呂っと杉並事業を実施し、全回数は348回でした。各浴場で毎月平均3～4回の利用があり、内容は健康体操・手芸・マージャン等です。				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	区内の公衆浴場数は、平成13年は56か所でしたが、平成29年は22か所(うち休業1、組合非加入1)です。事業実施浴場数は、平成13年度の9か所から平成29年度の9か所まで同じです。				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	利用者からは、「近所なので集まりやすく、気軽に利用できるのがいい。」など評価を頂いています。				
	今後（3～5年）の予測と方向性	実施浴場への登録団体の固定化から新規団体の利用は受け入れが難しくなっています。浴場数の減少により、事業実施浴場も減少していきます。				
	評価と課題	高齢者が主体的に活動するために、身近な地域で集まれる場所を提供する事業は必要ですが、自主グループへの周知が十分であるとはいえません。浴場組合と検討し、積極的な事業内容の周知を推進します。				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
	翌年度予算の方向性の理由・内容	事業の目的を踏まえ、浴場開放の実態を浴場組合と共有し、既存の登録団体との調整により新規の団体も利用できるようにします。併せて効果的な周知方法を浴場組合と検討します。				

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00143)

事務事業名称			いきいきクラブの支援				款	04	項	01	目	02	事業	012	整理番号	158
現担当課名			高齢者施策課				係名			いきがい活動支援係			連絡先電話番号	1165	昨年度整理番号	152
上位施策No・施策名											13 高齢者の社会参加の支援		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和33年度	実行計画事業			目標	04	施策	13	計画事業		01				
	平成29年度担当課名	高齢者施策課										事業評価区分	一般			
	対象	杉並区いきいきクラブ 杉並区いきいきクラブ連合会				根拠法令等	(1)		老人福祉法第4条、第13条第2項							
							(2)		杉並区いきいきクラブ助成要綱							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	クラブ会員一人ひとりが社会貢献活動やいきがい活動を積極的に行い、高齢期をいきいき元気に生活できるようにする。 いきいきクラブ及びいきいきクラブ連合会の活動の活性化を推進し、会員増加を支援する。				活動指標	指標名(1)		いきいきクラブ加入者数							
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	いきいきクラブが実施する社会奉仕活動・友愛活動・健康増進活動・生きがい活動等のクラブ活動に対して、各クラブの会員数に応じて、助成する。 いきいきクラブ連合会及び地区連合会が実施する福祉大会・スポーツ大会・健康づくり教室等の事業に対して、助成する。				成果指標	指標名(1)		いきいきクラブ加入率								
						指標説明		いきいきクラブ加入者数÷60歳以上の人口(当該年度4月1日現在)								
						指標名(2)		1か月の社会奉仕活動回数(クラブ当たり)								
						指標説明		社会奉仕活動回数÷全クラブ数÷12月								
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1 人	5,557	5,600	5,500	5,500	5,376	5,400	97.7							
	活動指標(2)	2														
	成果指標(1)	3 %	3.9	3.9	3.8	3.9	3.7	3.9	94.9							
	成果指標(2)	4 回	12.0	12	11.3	12	11.7	12	97.5							
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	23,610	24,491	23,175	24,385	22,802	24,026	平成29年度 予算執行率(%)	93.5						
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項							
	(内)委託費	7 千円	12	20	20	20	20	19								
	職員数	常勤職員数	8 人	1.00	1.00	1.00	1.50	1.50	1.00							
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
	人件費	常勤職員分	11 千円	8,747	8,747	8,562	12,843	12,887	8,591							
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0							
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0							
	総事業費	14 千円	32,357	33,238	31,737	37,228	35,689	32,617								
	単位当たりコスト	15 円	5,823	5,935	5,770	6,769	6,639	6,040								
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0							
		都からの補助金等	18 千円	2,530	2,669	2,524	2,635	2,451	2,602							
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計		20 千円	2,530	2,669	2,524	2,635	2,451	2,602								
差引:一般財源		21 千円	29,827	30,569	29,213	34,593	33,238	30,015								
受益者負担比率	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	158	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単 位	事業費（千円）
		いきいきクラブ助成（いきいきクラブ連合会 1・各いきいきクラブ 66）		67	団体	22,246
福祉大会・都市交流等事業		1	団体	500		
その他（旅費の支給、連絡用郵券ほか）				56		
(2) 事業実績	<p>いきいきクラブ（66クラブ）が、社会奉仕活動や友愛活動（9,281回）、健康増進活動（8,330回）、いきがいを高める活動（8,514回）を実施しました。</p> <p>いきいきクラブ連合会及び地区連合会で、福祉大会7回、スポーツ大会6回、健康づくり事業8回、東吾妻町とのグランドゴルフ大会による交流懇談会等を実施しました。</p>					
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和33年度、3クラブで開始し、平成5年度に会員数のピーク（12,071人）、平成10年度にクラブ数のピーク（100クラブ）となりました。 ・平成21年度：81クラブ、会員数6,778人 ・平成28年度：67クラブ、会員数5,500人 ・平成29年度：66クラブ、会員数5,376人 <p>国及び都の要綱改正に伴い、1クラブあたりの会員数を「50人以上」から「30人以上」に改正</p> <p>高齢者人口は年々増加していますが、新規加入者より退会者が多くクラブ数及び会員数は年々減少しています。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>会員からは、「生きがい活動を楽しんでいる。」という声や、「健康づくり教室で低栄養について学んだことにより、食の大切さをあらためて認識した。」という意見などがあります。一方、会員の高齢化がすすみ、「活動が一部の会員だけになってしまい残念だ。」という話も聞かれます。また、高齢の役員からは、「役員の高齢化が進み、区やいきいきクラブ連合会への提出書類の作成が困難になってきている。また、後継者がなく困っている。」といった声もあります。</p>				
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>高齢者が増加する中で、高齢者が、地域の中で様々な活動を通して生きがいを感じ、地域とのつながりや高齢者同士の支えあいを実感することで充実した日々を送り、地域包括ケアを実現するために、地域の互助組織であるいきいきクラブの存在は必要不可欠です。</p> <p>会員の減少や高齢化は進んでいますが、長年続いている活動を助け合いながら継続しているクラブや、仲間づくりのための新たな活動を始めるクラブを今後も支援していきます。</p>				
評価と課題	<p>いきいきクラブは、社会奉仕活動や健康増進活動、いきがい活動を通じて、高齢者の社会参加に一定の成果をあげてきました。しかし、就業卒業年齢が上昇していることや、高齢者にとっての居場所が老人クラブ以外にも多種多様な選択肢が広がっている現在、老人クラブ加入者の減少は全国的な傾向となっています。</p> <p>会員減少を食い止めるため、単に会員同士のいきがい活動だけでなく、ボランティアや友愛活動など地域の支えあいにつながる活動や、会員以外も参加できる行事を企画し、いきいきクラブの魅力を地域の高齢者に発信するよう支援します。</p>					
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>高齢者が、地域の中で様々な活動を通して生きがいを感じ、地域とのつながりや高齢者同士の支えあいを実感することで充実した日々を送り、地域包括ケアを実現するために、地域の互助組織であるいきいきクラブの存在は必要不可欠です。</p> <p>会員の減少や高齢化は進んでいますが、長年続いている活動を助け合いながら継続しているクラブや、仲間づくりのための新たな活動を始めるクラブを今後も支援していきます。</p> <p>また、後継者が見つからないまま役員が高齢化しているクラブの中で、大きな負担となっている会計処理や区への提出物の作成について適切な指導や助言を行なうことにより、クラブが廃止とならないよう、支援していきます。</p>					

平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00144）

事務事業名称			シルバー人材センター支援				款	04	項	01	目	02	事業	013	整理番号	159	
現担当課名		高齢者施策課		係名			いきがい活動支援係			連絡先電話番号		1165		昨年度整理番号		153	
上位施策No・施策名											13 高齢者の社会参加の支援		予算事業区分		既定事業		
事務事業の概要	事業開始		昭和53年度														
	平成29年度担当課名		高齢者施策課								事業評価区分		一般				
	対象		公益社団法人杉並区シルバー人材センター				根拠法令等		(1)		高齢者等の雇用の安定等に関する法律第5条						
									(2)		杉並区シルバー人材センター補助金交付要綱						
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		杉並区シルバー人材センターの安定した事業運営を図り、高齢者が就業等を通して、地域の中で生涯現役で活躍できるように支援する。				活動指標		指標名（1）		就業実人員数						
							指標説明		指標名（2）		指標の計画値は、シルバー人材センターの目標値を使用している。 年度末現在会員数						
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		杉並区シルバー人材センターの円滑な事業運営のため、補助金の交付及び運転資金の貸付を行う。				成果指標		指標名（1）		実契約件数							
						指標説明		指標名（2）		月単位で実績のあった受託件数の累計 会員の就業率 就業実人員数÷月平均会員数							
区分		単位	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成29年度						
			実績		計画		計画 (目標値)		実績		計画		対計画比(%)				
指標	活動指標（1）		1	人	1,995	2,000	1,966	2,000	1,949	2,000	97.5						
	活動指標（2）		2	人	2,780	2,800	2,772	2,850	2,723	2,750	95.5						
	成果指標（1）		3	件	8,205	8,529	7,985	8,386	7,760	8,057	92.5						
	成果指標（2）		4	%	71.8	71.4	70.9	71.1	71.6	72.7	100.7						
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	173,142	164,906	163,281	155,666	153,183	151,450	平成29年度 予算執行率(%)	98.4					
	(内) 投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内) 委託費		7	千円	0	0	0	0	0	0	指標の計画値は、シルバー人材センターの目標値を使用しています。						
	職員数	常勤職員数		8	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30						
		再任用職員数		9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数		10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分		11	千円	2,624	2,624	2,569	2,569	2,577	2,577						
		再任用職員分		12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分		13	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費 (5+11+12+13)		14	千円	175,766	167,530	165,850	158,235	155,760	154,027							
	単位当たりコスト (14-6)÷1		15	円	88,103	83,765	84,359	79,118	79,918	77,014							
	財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等		18	千円	12,495	12,495	12,495	12,495	12,495	12,495						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	12,495	12,495	12,495	12,495	12,495	12,495								
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	163,271	155,035	153,355	145,740	143,265	141,532								
受益者負担比率 (16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号	159		
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		シルバー人材センター運営助成			
		シルバー人材センター運用資金貸付			5,000
		その他（負担金の支出ほか）			50
事業実施状況	(2) 事業実績	<p>シルバー人材センターの事業実績は、実契約件数7,760件、事業収入886,348千円です。実契約件数の内訳は、有料自転車駐車場管理等の公共事業117件、民間企業の事業744件、独自事業34件、一般家庭の事業6,865件です。</p> <p>地域貢献活動としては、「シルバー孫の手」事業で125件のボランティア活動を行ったほか、会員交流を主に地域住民との交流も可能としたテーマで開催する「ひざこぞうトーク」、女性部委員会が企画運営する公開講座を会員と地域住民との交流の裾野を広げる事業として実施しました。</p>			
		<p>区の総人口に占める60歳以上の区民の割合は、昭和54年は8.6%で、平成29年は25.8%です。シルバー人材センターの会員数は、昭和54年度末は1,280人で、平成29年度末は2,723人です。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>就業会員打ち合わせ会での意見、未就業会員意向調査、お客様満足度調査及び公共施設利用者アンケートを基に、センター運営の課題を各委員会で検討し事業の充実・改善に努めました。「広報すぎなみ」へのセンターPR記事掲載をはじめ、「シルバーすぎなみ」の発行、PRチラシのポスティングや各種イベント参加時に配布するなど普及啓発活動に努めました。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>会員数については、65歳までの継続雇用制度の定着が進んでいる影響もあり、減少が続いています。センターの入会について、すぎなみ広報への掲載、わかりやすいチラシの工夫や高齢者が集まるイベントでの配布、研修会の開催等、各委員会で検討し、今後一層普及啓発事業に努めていきます。</p>			
評価と課題		<p>定年後の継続雇用制度の拡大により、会員数が減少し、契約金額も減少傾向にあります。平成30年10月からは労働者派遣事業を開始し、就業機会の拡大を図ります。安全就業推進計画により、安全を最優先した就業を進め、安全に対する意識を啓発し、安全就業の強化を図りましたが、平成28年度に比べ傷害事故及び賠償事故の件数は増加してしまいました。会員一人ひとりの安全就業への意識を高めるため、研修・講習等の周知を検討していきます。地域貢献活動として、平成25年度から開始した「シルバー孫の手」事業は地域共生社会にふさわしい取組であり、今後も、使いやすさなども考慮しながら積極的に取組んでいきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
翌年度予算の方向性の理由・内容		<p>今後とも、会員数が伸び悩むことが予想されますが、増加傾向にある家事援助サービスに対応するため、女性限定の入会説明を実施するなどし、女性会員の増強を図り、時代に即した柔軟な対応をすることにより、新たな分野での会員数の増加が見込めます。また、地域貢献活動では、地域での社会奉仕活動、杉並区のシルバー人材センターならではの「シルバー孫の手」事業を積極的に実施していきます。</p> <p>平成30年度から派遣事業所として開設し、さらなる就業機会の拡大に取り組みます。</p>			

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00145)

事務事業名称		高齢者いきがい活動支援				款	04	項	01	目	02	事業	014	整理番号	160	
現担当課名		高齢者施策課		係名		いきがい活動支援係		連絡先電話番号		1164		昨年度整理番号		154		
上位施策No・施策名											13 高齢者の社会参加の支援		予算事業区分		既定事業	
事業開始		昭和58年度		実行計画事業		目標 04		施策 13		計画事業 01		主要事業(区政経営報告書掲載事業)				
平成29年度担当課名		高齢者施策課										事業評価区分		一般		
対象		概ね60歳以上の区民 ただし、高齢者の就業・社会参加支援は、概ね55歳以上の在住・在勤者				根拠法令等		(1)		老人福祉法第4条		(2)		杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館設置条例		
事務事業の概要	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		高齢者が生きがいを高める活動・学習・就業の場を利用して、地域の中で生涯現役で健康に暮らしていけるようにする。				活動指標		指標名(1)		支援対象の地域活動団体数		指標名(2)		高齢者の就職成立件数	
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		地域のNPO法人・団体等が行う高齢者のいきがい、健康づくり、パソコン教室等の講座の開催を支援する。 地域で役に立ちたい高齢者を社会貢献スタッフとして登録、講師活動を実施する。 杉の樹大学をNPO法人に委託し運営する。 高齢者の就業・社会参加支援をNPO法人に委託し実施する。				成果指標		指標名(1)		杉並区後援の地域貢献事業の開催回数		指標名(2)		社会貢献スタッフ年間延べ派遣人数	
							指標説明									
区分		単位	平成27年度実績	平成28年度計画		平成28年度実績		平成29年度計画(目標値)		平成29年度実績		平成30年度計画	平成29年度対計画比(%)			
指標	活動指標(1)		1	団体	11	12	10	8	6	6	6	75.0				
	活動指標(2)		2	回	24	25	20	25	14	25	25	56.0				
	成果指標(1)		3	回	153	160	130	120	85	85	85	70.8				
	成果指標(2)		4	人	1,373	1,300	1,145	1,200	1,149	1,200	1,200	95.8				
事業費		5	千円	6,332	6,493	6,457	12,051	9,884	10,562	10,562	82.0	平成29年度予算執行率(%)		82.0		
(内)投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	特記事項				
(内)委託費		7	千円	6,182	6,435	6,427	11,994	9,851	10,369	10,369	82.0	平成29年度より、元気高齢者地域活躍推進事業を実施しました。				
職員数	常勤職員数		8	人	0.70	0.80	1.10	1.30	1.55	0.80	0.80	執行率82%の理由は、元気高齢者地域活躍推進事業が当初の計画よりも事業規模が縮小したためです。				
	再任用職員数		9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	非常勤職員数		10	人	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
人件費	常勤職員分		11	千円	6,123	6,998	9,418	11,131	13,316	6,873	6,873					
	再任用職員分		12	千円	0	0	0	0	0	0	0					
	非常勤職員分		13	千円	0	294	0	0	0	0	0					
総事業費(5+11+12+13)		14	千円	12,455	13,785	15,875	23,182	23,200	17,435	17,435						
単位当たりコスト((14-6)÷1)		15	円	1,132,273	1,148,750	1,587,500	2,897,750	3,866,667	2,905,833	2,905,833						
財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0	0	0	0					
	国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0	0	0					
	都からの補助金等		18	千円	3,126	3,258	3,243	8,807	6,664	7,167	7,167					
	その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0	0					
	特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	3,126	3,258	3,243	8,807	6,664	7,167	7,167					
	差引：一般財源(14-20)		21	千円	9,329	10,527	12,632	14,375	16,536	10,268	10,268					
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	160
		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	杉の樹大学運営委託	1	所	3,600
		高齢者の就業・社会参加支援委託	1	所	2,819
		元気高齢者地域活躍推進事業	1	所	3,422
	(2) 事業実績	杉の樹大学事業は、本科年間30講座（受講生42名）、公開講座3回（延べ180名）を実施しました。高齢者の就業・社会参加支援事業は、個別相談21回（延べ64名）実施、職業能力アップ講座29回（延べ356名参加）開催しました。社会貢献スタッフの講師活動（主にてぬぐい体操、健康エアロピクス）は、ゆうゆう館の自主グループ・協働事業、まちの湯健康事業等で継続実施しています。平成29年度から、元気高齢者地域活躍推進事業を実施しました（受講者数18名）。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	区の高齢化率（65歳以上の総人口に占める割合）は、昭和50年7.4%、平成元年11.4%、平成20年18.7%、平成24年19.8%、平成29年21.0%と増加しています。杉の樹大学事業は、昭和59年に開始しました。平成15年からNPO法人に事業委託し、平成24年度からは公募型プロポーザル方式により事業者を選定の上、運営を委託しています。平成28年度から新しい事業者が選定されています。平成29年度から、元気高齢者地域活躍推進事業を実施しました。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	杉の樹大学は、「新しい仲間と出会えた、充実した一年を過ごすことができた、学びから知り得た知識を地域のボランティア活動に活かしていきたい」など、受講生の評価は好評で、「もう1年通いたい」という要望もあります。社会貢献スタッフの講師活動（主にてぬぐい体操、健康エアロピクス）は、需要も高く、利用者にも好評です。元気高齢者地域活躍推進事業では、保育施設や高齢者施設への就労に向けた実施研修、就労体験、個別相談を行い、高齢者の就労意欲に応えました。			
	今後（3～5年）の予測と方向性	いきいきとした人生を送るために高齢者のいきがい活動は、趣味や学習だけでなく、就労意欲に対しても高まっています。定年の延長の動きなど注視し、そうした高齢者の需要に対し、就業に結びつくパソコン講座の企画や就職先の参加企業の開拓など必要な情報を提供していきます。			
	評価と課題	杉の樹大学は、1年間の継続した学びの中で、自己啓発と地域での仲間づくりを目的としています。今後も時代の変化とともに、講座内容等企画を工夫していきます。高齢者の就業・社会参加支援事業においては、年々高まる高齢者の就労意欲に応えるために、平成29年度から新たに実施した「元気高齢者地域活躍推進事業」について、より多くの方が受講できるよう周知方法や内容について見直しを行います。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	杉の樹大学事業は、平成30年度公募プロポーザルにより委託事業者を選定します。時代の変化に対応した魅力のある企画提案を期待します。高齢者の就業・社会参加支援事業においては、まだ働きたいという就労意欲に応え、平成29年度から元気高齢者地域活躍推進事業が実施されました。今後ひとりでも多くの就労を増やし、人手不足に悩む介護や保育の現場に、元気で経験豊かな高齢者の力が加わることにより、高齢化社会をささえる担い手になれるよう、支援していきます。			

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00162)

事務事業名称			ゆうゆう館の運営				款	04	項	01	目	02	事業	033	整理番号	176		
現担当課名			高齢者施策課				係名		施設担当係		連絡先電話番号		1153		昨年度整理番号	170		
上位施策No・施策名											13 高齢者の社会参加の支援		予算事業区分		既定事業			
事務事業の概要	事業開始		昭和38年度															
	平成29年度担当課名		高齢者施策課				事業評価区分		一般									
	対象		60歳以上の区民及びゆうゆう館協働事業参加者、NPO法人等の協働事業実施団体				根拠法令等		(1)		杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例							
									(2)		老人福祉法							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		NPO法人等との協働により、効率的かつ魅力あるゆうゆう館の管理運営を行う。				活動指標		指標名(1)		協働事業実施回数							
								指標説明		協働事業年間参加者数								
								指標名(2)		協働事業年間参加者数								
								指標説明										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		ゆうゆう館の受付業務及び館清掃等をNPO法人等に委託する。効率的かつ魅力あるゆうゆう館として運営していくため、評価委員会を開催し、ゆうゆう館協働事業実施団体に対する評価を行う。新たにゆうゆう館の協働事業実施団体を選定するため、選定委員会を開催する。ゆうゆう館の円滑な運営のため、運営団体と意見交換を行う。				成果指標		指標名(1)		ゆうゆう館部屋稼働率								
								指標説明		使用した回数÷使用可能枠数								
								指標名(2)		協働事業参加者の満足度								
								指標説明		(大いに満足+満足)÷参加者数 利用者アンケート結果より								
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度									
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)									
指標	活動指標(1)	1	回	10,345	10,000	10,921	10,500	10,833	10,500	103.2								
	活動指標(2)	2	人	114,924	115,000	118,381	117,000	120,471	118,000	103.0								
	成果指標(1)	3	%	48.0	48	50.0	50	49.6	50	99.2								
	成果指標(2)	4	%	95.4	90	95.4	90	97.5	90	108.3								
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	259,110	263,318	262,013	263,203	260,870	267,502	平成29年度予算執行率(%)	99.1							
	(内)投資的経費等	6	千円	3,123	4,212	4,077	3,664	3,225	4,528	特記事項								
	(内)委託費	7	千円	254,662	257,897	257,086	258,546	256,998	261,333									
	職員数	常勤職員数	8	人	2.04	1.80	2.02	1.68	2.01	2.00								
		再任用職員数	9	人	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00								
		非常勤職員数	10	人	0.60	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80								
	人件費	常勤職員分	11	千円	17,844	15,745	17,295	14,384	17,268	17,182								
		再任用職員分	12	千円	1,366	0	0	0	0	0								
		非常勤職員分	13	千円	1,761	2,348	2,377	2,377	2,355	2,355								
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	280,081	281,411	281,685	279,964	280,493	287,039									
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	26,772	27,720	25,420	26,314	25,595	26,906									
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0								
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0								
		都からの補助金等	18	千円	2,532	2,698	2,698	2,291	2,291	2,964								
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0									
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	2,532	2,698	2,698	2,291	2,291	2,964									
差引:一般財源(14-20)		21	千円	277,549	278,713	278,987	277,673	278,202	284,075									
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0										

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	176
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		ゆうゆう館受付等業務委託(うち協働事業館32館)	32	館	256,939
		協働事業館支援事業(備品・消耗品購入)	2	館	3,748
		ゆうゆう館評価委員会及び選定委員会開催	5	回	183
		その他()			
(2) 事業実績	<p>32館で年間10,833回の協働事業が行われ、延べ12万人を超える参加者がありました。ゆうゆう館を利用した人数は444,103人でした。 実施団体の評価は、ゆうゆう館協働事業を平成24年度に開始した1団体及び27年度に開始した7団体を対象に、評価委員会を2回開催して実施しました。 また、平成29年度に協定期間が満了となる8館を対象に、協働事業実施団体を募集しました。12団体から応募があり、選定委員会を3回開催して8団体を選定しました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>受付等業務委託は、平成18年度の時点では16館(うち協働事業館9館)で行っていました。平成23年度から区内32箇所あるゆうゆう館の全てが受付等業務委託館及び協働事業実施館となりました。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>館の管理運営は順調に行われており、受託団体の接客姿勢についてもアンケートの意見や、直接、利用者からも満足との評価を得ています。また、利用者のニーズに合わせた内容を取り入れるなど協働事業を幅広く行うことにより、利用者数は増加傾向にあります。その一方で、従来からゆうゆう館を利用していた高齢者団体等からは、希望する日時での部屋の確保ができなくなり自主活動がやりづらくなったなどの苦情も寄せられています。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>高齢人口の増加に伴い、高齢者の活動の場としてのゆうゆう館の必要性は今後も大きくなると考えます。 杉並区立施設再編整備計画では、ゆうゆう館は多世代が利用できる地域コミュニティ施設への転用・再編整備を進めることとなっています。再編後もゆうゆう館の機能と役割は継承することとなっているので、これまでと同様に高齢者が身近な地域で気軽に集えるように、高齢者のニーズを把握した事業や、地域の特性に合った事業の企画を進めていくことが求められます。 継続的で安定したゆうゆう館の運営ができるように、区は運営団体の評価及び選定を通して指導や支援を行う必要があります。</p>			
評価と課題	<p>現在、全館において協働事業を実施し、ゆうゆう館は高齢者の社会参加や交流、いきがい活動の拠点となっています。今後も、地域に根差した施設として高齢者の満足度がさらに上がるよう運営を行うことが課題です。 また、杉並区立施設再編整備計画では、地域コミュニティ施設への転用・再編整備を進めていく計画となっており、平成29年度にはゆうゆう馬橋館、下高井戸館が移転し複合化されました。複合施設としての運営方法の適正化を図るとともに、平成30年度も引き続きモデル的な取組を行いながら、転用にあたって継承するゆうゆう館の機能と役割、そのための施設運営の方法について十分検討し具体化します。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>平成29年度にゆうゆう馬橋館、下高井戸館が移転し、地域コミュニティ施設のモデルとなる取組を進めてきました。平成30年度はこの取組を進めつつ、これまで得られた結果や実績などを検証して杉並区立施設再編整備計画第二次実施プランに反映していきます。 身近な地域で高齢者が集まることができるゆうゆう館の機能と役割について、検討、精査し、高齢者が引き続き高齢者のいきがい活動の拠点として利用できるよう計画化していきます。</p>			

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00163)

事務事業名称		三療サービス				款	04	項	01	目	02	事業	034	整理番号	177	
現担当課名		高齢者施策課				係名	いきがい活動支援係				連絡先電話番号	1165	昨年度整理番号	171		
上位施策No・施策名											13	高齢者の社会参加の支援			予算事業区分	既定事業
事務事業の概要	事業開始	昭和48年度														
	平成29年度担当課名	高齢者施策課											事業評価区分	一般		
	対象	60歳以上の区民				根拠法令等	(1)		杉並区三療サービス事業実施要綱							
							(2)									
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	マッサージを受け、高齢者の身体機能の維持・介護予防の促進を図り、いきいきと暮らせるようにする。				活動指標	指標名(1)		三療サービス利用者数							
						指標説明		ゆうゆう館でのサービス利用人数								
						指標名(2)										
						指標説明										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	ゆうゆう館で行うマッサージ・はり施術を「杉並区高齢者三療サービス連絡協議会」に委託して実施する。高齢者活動支援センターでは、指定管理者が同協議会に再委託して実施する。				成果指標	指標名(1)		利用率								
						指標説明		利用者数÷(当該年度4月1日付け)60歳以上の区民								
						指標名(2)										
						指標説明										
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度	特記事項 活動指標(1)の計画値は、12名×40回×12か月の合計数です。						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1 人	5,133	5,760	5,284	5,760	5,246	5,760	91.1							
	活動指標(2)	2														
	成果指標(1)	3 %	3.6	4.0	3.7	4.0	3.6	3.9	90.0							
	成果指標(2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	12,274	12,735	12,109	12,869	11,848	12,593	平成29年度予算執行率(%)	92.1						
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0								
	(内)委託費	7 千円	11,907	12,367	11,824	12,496	11,532	12,229								
	職員数	常勤職員数	8 人	0.30	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10							
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
		非常勤職員数	10 人	0.25	0.80	0.90	0.90	0.90	0.90							
	人件費	常勤職員分	11 千円	2,624	875	856	856	859	859							
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0							
		非常勤職員分	13 千円	734	2,348	2,674	2,674	2,650	2,650							
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	15,632	15,958	15,639	16,399	15,357	16,102								
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	3,045	2,770	2,960	2,847	2,927	2,795								
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0							
		都からの補助金等	18 千円	6,368	6,366	6,367	6,433	6,119	6,296							
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	6,368	6,366	6,367	6,433	6,119	6,296								
差引:一般財源(14-20)		21 千円	9,264	9,592	9,272	9,966	9,238	9,806								
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	177
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		三療サービス(ゆうゆう館)事業委託	5,246	人	10,466
		その他(シーツ、洗濯料ほか)			1,382
(2) 事業実績	<p>ゆうゆう館32館を利用し、例年月40回、年間480回実施しています。平成29年度は悪天候のため1回中止としたため年間479回の実施となりました。実績数は5,246人。内訳は女性が3,856人(73.5%)、男性が1,390人(26.5%)です。はりマッサージは希望制ですが、内訳はマッサージ希望が4,582人(87.3%)はり希望が664人(12.7%)です。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>ゆうゆう館 平成25年度5,036人 平成26年度5,039人 平成27年度5,133人 平成28年度5,284人 平成29年度5,246人とほぼ増加傾向で推移しています。 高齢者活動支援センター 平成25年度3,453人 平成26年度3,531人 平成27年度3,560人 平成28年度3,518人 平成29年度3,304人と同水準の利用者がいます。高齢者活動支援センターは平成24年5月以降は指定管理者制度に移行し、事業予算は指定管理料から支出することとなりました。平成29年度にプロポーザルにより指定管理事業者は委託の更新となりました。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>現在、ゆうゆう館では原則として施術は1月当たり1回しか受けられないので、利用者からは利用できる回数を増やしてほしいとの要望が毎年あります。 また、施術者の接遇に関して、苦情が年間数件寄せられます。委託事業者である三療サービス連絡協議会内での通達や情報の共有や周知が不十分であることもあります。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>区の施設整備再編計画によるゆうゆう館の地域コミュニティ施設への転換により三療サービスのあり方を検討する可能性があります。 利用者の固定化の傾向がみられ、より多くの方に利用していただくためホームページやゆうゆう館での周知に一層の取組が必要になります。 施術者による格差・意識の違いもあるため技術力の向上を支援するとともに、接遇力の向上も支援する必要があります。</p>			
評価と課題	<p>利用者も施術者も高齢化が一層進んでいるため、体調などの健康管理面に注視するとともに緊急事態の危機管理対応を確認する必要があります。 利用者には好評な施術ですが、より多くの方に利用していただくため、ホームページやゆうゆう館での周知を強化していきます。 施術者による格差・意識の違いもあるため、技術力の向上を支援するとともに、接遇力の向上も支援し、三療サービス連絡協議会との意見交換を積極的に行っていきます。 ゆうゆう館運営団体の協力も得ながら、三療サービスを介護予防につなげていくため具体的な方策について検討する必要があります。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)・対象の見直し		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>ホームページの掲載や、館ごとのPRを行います。また、三療サービスの利用者自ら健康保持・向上を意識し関心を高めるよう、介護予防事業の普及啓発を実施して高齢者の健康増進を目指します。 施術者の技術向上、接遇改善のため、協議会が実施する技術・接客向上の研修会を支援します。 衛生面の改善を課題として検討しているため、30年度同様に消毒液の正しい使い方の徹底を行うと共に、タオルケット、布団等の使用方法について、引き続き見直しを進めていきます。また、布団等の使用方法変更に伴う、洗濯料の軽減も検討します。</p>			

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00164)

事務事業名称		敬老事業		款	04	項	01	目	02	事業	035	整理番号	178	
現担当課名		高齢者施策課		係名		いきがい活動支援係		連絡先電話番号		1165		昨年度整理番号	172	
上位施策No・施策名										13 高齢者の社会参加の支援		予算事業区分		既定事業
事務事業の概要	事業開始	昭和25年度												
	平成29年度担当課名	高齢者施策課								事業評価区分		一般		
	対象	75歳以上の高齢者 75歳(28年度まで)、81歳、90歳(29年度より)、100歳以上の高齢者		根拠法令等		(1) (2)		老人福祉法第4条、5条、第13条第1項 杉並区敬老事業実施要綱						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	敬老事業が対象者の日常生活に、新たな価値や意味を見出すきっかけとなり、健やかに充実した後期高齢期を過ごし、意欲や活力が高められるようにする。		活動指標		指標名(1) 指標名(2)		敬老会参加者数 祝い品贈呈者数(81歳、90歳、100歳以上)						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	高齢者の長寿を祝うため、式典及び演芸会を開催する。 対象者に敬老祝い品(81歳、90歳)、長寿祝い品(100歳以上)を贈呈(戸別配達)する。 在宅で生活している100歳以上の男女1名ずつ、区長が訪問し、直接贈呈を行う。		成果指標		指標名(1) 指標名(2)		敬老会来場率 来場者÷対象者数 祝い品交換率 交換者÷対象者数						
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)					
指標	活動指標(1)	1	人	4,153	5,000	5,171	5,500	5,662	6,000	102.9				
	活動指標(2)	2	人	8,688	9,290	9,205	6,540	6,108	6,430	93.4				
	成果指標(1)	3	%	7.0	8.5	8.5	8.7	9.1	9.3	104.6				
	成果指標(2)	4	%	95.6	100	98.8	100	97.9	100	97.9				
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	32,041	36,486	35,072	35,269	31,842	37,933	平成29年度 予算執行率(%)	90.3			
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費	7	千円	8,234	10,150	10,127	12,268	12,230	13,945					
	職員数	常勤職員数	8	人	1.85	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80				
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10				
	人件費	常勤職員分	11	千円	16,182	15,745	15,412	15,412	15,464	15,464				
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0				
		非常勤職員分	13	千円	0	294	297	297	294	294				
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	48,223	52,525	50,781	50,978	47,600	53,691					
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	11,612	10,505	9,820	9,269	8,407	8,949					
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0				
		都からの補助金等	18	千円	5,434	6,783	6,784	7,581	7,434	8,732				
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	5,434	6,783	6,784	7,581	7,434	8,732					
差引:一般財源(14-20)		21	千円	42,789	45,742	43,997	43,397	40,166	44,959					
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	178	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		敬老会開催		5,662	人	14,869
		敬老祝い品贈呈		6,189	人	16,973
		その他（ ）				
	(2) 事業実績	<p>75歳以上の高齢者を対象に、第68回杉並区敬老会を9月5・6・7日の3日間全8回開催しました。内容は式典と演奏会（日本フィルハーモニー交響楽団による弦楽アンサンブルとソプラノ歌唱）を行いました。</p> <p>敬老祝い品は81歳90歳の方にカタログギフトによる祝い品を贈り、100歳以上の方にカタログギフト、肌着セット、音声拡聴器から1点選択していただく形で祝い品を贈りました。さらに、在宅で生活している100歳以上の男女1名ずつを区長が訪問し長寿を祝い、花束の贈呈をしました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>対象である75歳以上人口はこの事業が開始された昭和27年の約3,000人と現在の62,068人（平成29年6月15日現在）を比較すると約20倍になります。また高齢者の嗜好も時代とともに変化し、多様化してきております。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>杉並区敬老会は、かつて演歌歌手のショーを中心に開催してきましたが、ここ数年、参加者からはクラシック、ポップス、演芸など多様なジャンルへの要望も寄せられるようになってきました。敬老祝い品のカタログギフトは、個人の嗜好に合わせて商品を選択できるので、対象者になるのを楽しみにしているという声が多数あります。少数ですが、祝い品は必要ないという意見や区内共通商品券、現金、寄付を希望する声もあります。</p>				
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>75歳以上の対象者は年々増加し続けています。安全のために平成30年度の敬老会は29年度の公演回数8回から1回増の全9回で行う予定です。75歳以上の対象者は今後も増加が見込まれます。敬老祝い品の対象年齢が、平成29年度より、75・81歳から81・90歳に変更されたことにより、対象者が減少しました。</p>				
評価と課題		<p>平成29年度の敬老会は、再演希望の多かった日本フィル交響楽団による弦楽アンサンブルとソプラノ歌唱の演奏会を実施しました。また、高齢者の安全を考慮するとともに、他課の応援要員削減のため、企画とあわせて設営及び案内・誘導等を業務委託することで、事故なく円滑に実施できました。今後、さらに対象者が増えることから、民間事業者の協力を得ながら今後の敬老会の運営方法について検討します。</p> <p>敬老祝い品（81歳・90歳）の内容については、交換率もよく好評です。区民の方からの意見を反映し、カタログ選定の際には、寄付商品が掲載されているものを指定しています。100歳以上の祝い品に関しては、毎年お祝いしてもらえることに、感謝の言葉が多く寄せられています。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>敬老会は対象者増を見込み、平成30年度は前年より1回増の全9回公演で行います。さらに安全面に配慮して業務委託します。</p> <p>高齢者人口のさらなる増加を見越し、敬老事業全体の見直しも視野に入れながら、従来通りの事業形態ではない選択肢についても検討します。</p>				

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00165)

事務事業名称 長寿応援ポイント事業			款 04	項 01	目 02	事業 036	整理番号 179			
現担当課名 高齢者施策課		係名 長寿応援ポイント担当係			連絡先電話番号 1166	昨年度整理番号 173				
上位施策No・施策名 13 高齢者の社会参加の支援						予算事業区分 既定事業				
事業開始 平成21年度		実行計画事業 目標 04 施策 13		計画事業 02						
平成29年度担当課名 高齢者施策課						事業評価区分 一般				
対象		地域貢献活動、健康増進活動等は60歳以上の区民 いきがい活動は、75歳以上の区民		根拠法令等 (1) (2)	杉並区長寿応援ポイント事業実施要綱 杉並区長寿応援ポイント事業運営懇談会開催要綱					
事務事業の概要	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)		活動登録グループ件数(新規) ポイント交換者数					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明		65歳以上の高齢者でいきがいを感じている人の割合 区民意向調査による					
	区が認定した「地域貢献活動」等へ高齢者が参加したときポイントを配布する。ためたポイントは、地域貢献活動団体の助成を行うため設置した長寿応援ファンドへの寄付および区内共通商品券の交換に充てる。 円滑な事業運営を図るため、長寿応援ポイント事業運営懇談会を設置する。 業務は民間事業者への委託により行う。									
区分		単位	平成27年度 実績	平成28年度 計画 実績		平成29年度 計画(目標値) 実績		平成30年度 計画	平成29年度 対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 件	135	100	96	100	80	100	80.0	
	活動指標(2)	2 人	7,206	8,500	7,644	9,500	7,785	9,500	81.9	
	成果指標(1)	3 %	84.0	87	79.0	87	76.9	90	88.4	
	成果指標(2)	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	84,352	91,860	91,643	99,723	99,715	98,532	平成29年度 予算執行率(%) 100.0	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 事業の実態により近い、適切な指標となるよう、活動指標(1)の見直しを行い、これまでの活動登録グループ件数(累計)から同(新規)に変更しました。	
	(内)委託費	7 千円	35,043	35,830	35,819	41,114	41,112	39,563		
	職員数	常勤職員数	8 人	1.50	1.50	1.40	1.50	1.50		1.50
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11 千円	13,121	13,121	11,987	12,843	12,887		12,887
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0		0
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	97,473	104,981	103,630	112,566	112,602	111,419		
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	722,022	1,049,810	1,079,479	1,125,660	1,407,525	1,114,190		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18 千円	19,460	19,316	20,121	19,400	0		21,283
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	19,460	19,316	20,121	19,400	0	21,283		
差引:一般財源(14-20)		21 千円	78,013	85,665	83,509	93,166	112,602	90,136		
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

			整理番号	179	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		長寿応援ポイント事業業務委託等			
		長寿応援ポイント事業運営懇談会等	18	回	480
		事業紹介冊子、ポイントシール印刷ほか			2,771
		その他(商品券の購入ほか)			55,351
	(2) 事業実績	平成29年度末の登録活動数は1,474件で、平成28年度末の1,451件から1.6%の増加となりました。平成29年度は事業紹介冊子を作成し、各ゆうゆう館や保健センターに配布することで、様々な活動の紹介と事業の周知を行いました。また、区役所1階ロビーで事業紹介展示を行いました。長寿応援ファンドを活用し、高齢者の健康づくりや、誰もが住みやすいまちづくりを進める活動として、5活動(平成28年度は8活動)に助成を行いました。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	事業開始年度である平成21年10月の区内65歳以上人口は103,024人でしたが、平成30年4月現在では118,831人まで増加しています。平成29年度区民意向調査によれば、65歳以上でボランティア活動を行っている高齢者は13.9%、趣味のサークルやクラブ活動、社会貢献活動を行っている高齢者は70.0%で、前年度を上回っています。生活にいきがいを感じている高齢者は76.9%です。			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	ポイントが配られることで「参加意欲が向上する」「新しい方も参加するようになった」「友人が増えた」など、大変好評です。ポイント交換で得た商品券は日々の買い物や健康・娯楽など様々な目的で活用されています。また、寄付をいただいた方からは「社会の役に立てることがうれしい」との声があります。一方で、ポイント獲得を前提としたボランティア活動への疑問の声も出ています。長寿応援ファンド助成を受けた活動団体からは、「事業参加者同士のつながりができ、地域の中で支えあつ関係が構築できた」「寄付者が事業に参加しているケースも多く、寄付したポイントが有効に使われていることを実感できた」等の実施結果が報告されました。			
	今後(3~5年)の予測と方向性	杉並区の高齢化率は21%程度で推移していくことが予測されています。高齢者が地域に出て自らの知識や経験を活かし、地域貢献活動などを行いながら、地域社会の様々な世代の人達と支えあい、いきいきと生活していく社会を目指して事業を進めていきます。			
	評価と課題	長寿応援ポイント事業登録活動数は、平成21年度の事業開始以来増加を続けており、多様な地域活動が行われています。一方、新規の登録活動数は年々減少傾向にあり、参加者が固定化する等の問題もあります。公平性の観点からも、事業の利用実態を踏まえ、ポイント交換の仕組みを中心に、より効果的な事業となるよう、検討を進めます。長寿応援ファンドは、地域に貢献する公益的な活動や、いろいろな世代を支援する活動に対して助成していますが、申請数、助成活動数ともに減少傾向にあります。お互いが支えあつ社会の実現を目指し、より効果的な活用を図ります。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	登録活動数の増に伴い事業参加者数も増加が見込まれますが、利用実態等の分析により活動状況を把握し、事業の見直しを行うとともに、長寿応援ファンドについては、より有効な活用を目指して、検討していきます。			

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00225)

事務事業名称 高齢者活動支援センターの維持管理			款 04	項 01	目 06	事業 012	整理番号 240			
現担当課名 高齢者施策課		係名 施設担当係		連絡先電話番号 1153		昨年度整理番号 235				
上位施策No・施策名 13 高齢者の社会参加の支援						予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始	昭和58年度								
	平成29年度担当課名	高齢者施策課		事業評価区分 一般						
	対象	60歳以上の区民及び高齢者活動団体、60歳以上の区民で構成される10名以上の団体(ゲートボール場)		根拠法令等 (1) (2)	老人福祉法第4条、第5条の3、第15条、第20条の7 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例					
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	高齢者活動支援センターを運営し、高齢者の生涯現役の地域拠点として社会参加の拡充を図る。 高齢者の自主的団体活動を支援し、新たな生きがい作りや仲間作りを促進し、元気高齢者の増加に寄与する。 スポーツ活動(ゲートボール)を通して高齢者の社会参加の機会を拡充し、元気高齢者の増加を図る。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	高齢者活動支援センター登録団体数 団体利用回数					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	高齢者の活動拠点として、高齢者活動支援センターの運営を指定管理者により行う。 60歳以上の区民の福祉増進を図るため、各種相談や健康増進、教養の向上及びレクリエーション活動の支援を目的に設置した高齢者活動支援センターの施設維持管理を行う。 高齢者の健康増進及び高齢者団体の活動支援のため、高齢者ゲートボール場を管理・運営する。		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	高齢者活動支援センター利用率 講座室等利用回数÷利用可能枠数 ゲートボール場利用率 利用回数÷利用可能枠数					
区分		単位	平成27年度 実績	平成28年度 計画	平成28年度 実績	平成29年度 計画 (目標値)	平成29年度 実績	平成30年度 計画	平成29年度 対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 団体	77	80	77	80	85	80	106.3	
	活動指標(2)	2 回	2,403	2,500	2,507	2,600	2,739	2,800	105.3	
	成果指標(1)	3 %	79.8	80.0	82.1	85.0	70.7	85.0	83.2	
	成果指標(2)	4 %	52.5	60.0	56.4	60.0	50.8	60.0	84.7	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	71,357	70,967	70,932	72,601	72,593	64,405	平成29年度 予算執行率(%) 100.0	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項	
	(内)委託費	7 千円	71,224	70,781	70,779	72,157	72,152	64,302		
	職員数	常勤職員数	8 人	0.41	0.40	0.45	0.32	0.38	0.40	
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	人件費	常勤職員分	11 千円	3,586	3,499	3,853	2,740	3,265	3,436	
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0	
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	74,943	74,466	74,785	75,341	75,858	67,841		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円	973,286	930,825	971,234	941,763	892,447	848,013		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0	
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	74,943	74,466	74,785	75,341	75,858	67,841		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号		240	
		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	運営管理（指定管理者）			71,240
		建物管理委託			639
		備品購入			255
		ゲートボール場清掃等委託			274
		その他（物品リース、光熱水費、消耗品購入費など）			185
	(2) 事業実績	<p>清掃工場からの熱源供給の再開に伴い、温水供給装置のオーバーホールを行い、冷暖房や浴室の湯沸し等に熱源を利用しました。また、利用者が使用できるように電位治療器の借り上げ及び保守管理を行い利用者からは好評を得ています。修理不能による全自動血圧計も買い替えました。</p> <p>高齢者ゲートボール場の利用者が快適に使用できるように便所清掃や樹木剪定等ゲートボール場の維持管理を行いました。また、管繕課の年次修繕計画によるゲートボール場の倉庫の扉修繕を行いました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>全国的にゲートボール人口は減少傾向にあり、高齢者ゲートボール場登録団体数は平成12年度の29団体をピークに減少し、平成18年度には17団体となりました。その後、増加に転じ、平成24年度は21団体が登録していましたが、平成25年度から年々減少し平成29年度は15団体となっています。</p> <p>高齢者活動支援センターは昭和58年の開設ですが、隣接する杉並清掃工場の建替工事に伴い、大規模改修工事を実施し、改修後の平成24年5月からは運営をより効果的かつ効率的に行い、利用者がより一層利用しやすい施設とするため指定管理者制度を導入しました。また、高齢者活動支援センターの講座室を平成26年度から28年度までシルバー人材センターの分室に活用し、平成29年度には、はつらつルームを保育室に転用しています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>高齢者活動支援センターを利用する高齢者団体から行政が多目的室・講座室を使用する頻度が高いことに対する意見が寄せられました。ほかには、趣味の部屋にあるビリヤードを使用するにあたり初めての利用者には使用しづらい、治療器コーナーにあるマッサージ機を使用するにあたり利用者のモラルが問われる等の声もありました。</p> <p>高齢者ゲートボール場を利用する団体からは、グラウンド整備及び樹木剪定等に対する要望が寄せられました。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>高齢者活動支援センターの使用状況は、第3講座室が平成28年度にシルバー人材センター分室を廃止し返還されたことから利用可能枠数が増えるものの、はつらつルームを利用していた事業や他施設を利用していた行政による使用の増加も見込まれることから稼働率は高水準を保つと思われれます。</p> <p>高齢者ゲートボール場登録団体数は、ゲートボール人口の増加要因が当面見当たらないことから、今後もゆるやかな減少傾向は継続すると考えられます。</p>			
	評価と課題	<p>講座室の稼働状況は平均71%、特に多目的室は90%を超える状況で稼働しています。高齢者団体の使用が半数以上を占め高齢者のいきがい活動等の支援に寄与しています。また、運営は指定管理者が行っており、区と指定管理者との役割分担も明確化しています。指定管理者が実施する「地域懇談会」は、地域の関係者と意見交換を行うなど施設の円滑な運営に役立っています。今後は、地域活動の拠点となるよう、指定管理者が行う事業での人材の発掘、高齢者団体の活動及び社会参加支援等の施策を探るため、指定管理者と区の連携が益々重要になってきます。</p> <p>高齢者ゲートボール場の管理については、利用団体が主体的に管理する範囲もあるため、区と利用団体との役割分担を明確化していきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・実施主体の見直し		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>高齢者活動支援センターでは、利用者の意見に基づく利用方法の改善や地域活動の拠点として社会参加の充実を図る施策等、指定管理者と引き続き協議・検討を行っていきます。</p> <p>高齢者ゲートボール場の使用については、一部の利用者に限られ、また、その利用者においても減少傾向にありますが、広報等で周知を図るなど利用普及に努めます。</p>			

平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00226）

事務事業名称			ゆうゆう館の維持管理				款	04	項	01	目	06	事業	013	整理番号	241	
現担当課名			高齢者施策課		係名		施設担当係		連絡先電話番号		1153		昨年度整理番号		236		
上位施策No・施策名											13 高齢者の社会参加の支援		予算事業区分		既定事業		
事務事業の概要	事業開始		昭和38年度														
	平成29年度担当課名		高齢者施策課						事業評価区分		施設維持管理						
	対象		60歳以上の区民、高齢者団体及びゆうゆう館協働事業参加者		根拠法令等		(1)		杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例								
							(2)		老人福祉法第4条								
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		元気な高齢者の声が響き渡る地域社会が形成できるように、生涯現役社会の地域拠点として、ゆうゆう館が高齢者のみならず地域住民の「いきがい学び」「ふれあい交流」「健康づくり」「憩い」の場として幅広く活用されるようにする。		活動指標		指標名（1）		年間延べ利用者数								
						指標説明		利用団体数（高齢者活動登録団体）									
						指標名（2）											
						指標説明											
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		利用者がゆうゆう館32館を安全かつ快適に利用できるように維持管理を行う。		成果指標		指標名（1）											
						指標説明											
						指標名（2）											
						指標説明											
区分		単位		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成29年度					
				実績		計画		計画 （目標値）		実績		計画		対計画比（%）			
指標	活動指標（1）		1 人		447,040		460,000		452,139		460,000		444,103		460,000 96.5		
	活動指標（2）		2 団体		1,087		1,150		1,129		1,150		1,130		1,150 98.3		
	成果指標（1）		3														
	成果指標（2）		4														
総事業費・コスト把握	事業費		5 千円		69,990		74,342		65,885		75,774		70,520		75,374 平成29年度 予算執行率(%) 93.1		
	(内) 投資的経費等		6 千円		0		0		0		0		0		0 特記事項		
	(内) 委託費		7 千円		24,955		26,620		23,786		31,843		27,945		26,856		
	職員数	常勤職員数		8 人		1.36		1.20		1.34		1.20		1.43		1.60	
		再任用職員数		9 人		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
		非常勤職員数		10 人		0.15		0.20		0.20		0.20		0.20		0.20	
	人件費	常勤職員分		11 千円		11,896		10,496		11,473		10,274		12,285		13,746	
		再任用職員分		12 千円		0		0		0		0		0		0	
		非常勤職員分		13 千円		440		587		594		594		589		589	
	総事業費 (5+11+12+13)		14 千円		82,326		85,425		77,952		86,642		83,394		89,709		
	単位当たりコスト (14-6)÷1)		15 円		184		186		172		188		188		195		
	財源	受益者負担分		16 千円		0		0		0		0		0		0	
		国からの補助金等		17 千円		0		0		0		0		0		0	
		都からの補助金等		18 千円		0		0		0		0		0		0	
その他の補助金等		19 千円		0		0		0		0		0		0			
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円		0		0		0		0		0		0			
差引：一般財源 (14-20)		21 千円		82,326		85,425		77,952		86,642		83,394		89,709			
受益者負担比率 (16÷14)		22 %		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	241	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		光熱水費	32	館	32,108	
	施設保守管理委託	32	館	22,200		
	消耗品購入、修繕、家屋等修繕	32	館	9,384		
	物品・機器リース	32	館	921		
	その他（電話料金、物品保守委託、負担金の支出、洋便化工事ほか）				5,907	
	(2) 事業実績	<p>ゆうゆう館の利用者が、安全かつ快適に施設の利用ができるように、施設修繕、施設保守管理委託などを行うとともに、老朽化した物品の買い替え及び不足している物品の購入を行いました。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化					
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）					
	今後の予測					
	評価と課題	<p>ゆうゆう館の施設・設備の維持管理を行うことで、安全かつ快適な施設の利用について貢献できました。築40年以上のゆうゆう館が半数を占めていることから、老朽化に伴い必要な修繕が増えてきています。今後も杉並区立施設再編整備計画の進捗状況も確認しながら、優先して行うべき建物並びに設備の小修繕を精査し、安全で利用しやすい環境を維持していきます。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性				
		II 事業の改善の方向性				
	今後の進め方					

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00235)

事務事業名称		ゆうゆう下高井戸館の整備			款	04	項	01	目	07	事業	026	整理番号	251	
現担当課名		高齢者施策課		係名	施設担当係			連絡先電話番号	1153		昨年度整理番号	246			
上位施策No・施策名										13 高齢者の社会参加の支援		予算事業区分	投資事業		
事務事業の概要	事業開始	平成25年度													
	平成29年度担当課名	高齢者施策課									事業評価区分	施設維持管理			
	対象	60歳以上の区民、高齢者団体、協働事業参加者			根拠法令等	(1)		杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例							
						(2)		老人福祉法							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	区立施設再編整備計画に基づき、下高井戸児童館を改修し、高井戸第三小学校の敷地内の暫定施設で開館しているゆうゆう下高井戸館を移転させ、併設施設として開館する。			活動指標	指標名(1)		改修工事の進行状況と開設状況							
					指標名(2)										
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)				指標説明										
	ゆうゆう下高井戸館の下高井戸児童館内への移転に伴う改修工事を完了し、移転先での円滑な開設に向け整備を行う。			成果指標	指標名(1)										
					指標説明										
					指標名(2)										
					指標説明										
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1	%	0	100	100	100	100	0	100.0					
	活動指標(2)	2													
	成果指標(1)	3													
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	0	38,417	33,492	50,283	50,262	0	平成29年度予算執行率(%)	100.0				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	38,417	33,492	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	0	38,417	33,492	50,063	50,053	0	本事業は平成29年度で終了しました。					
	職員数	常勤職員数	8	人	0.00	0.00	0.31	0.40	0.48	0.00					
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分	11	千円	0	0	2,654	3,425	4,124	0					
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費	14	千円	0	38,417	36,146	53,708	54,386	0						
	単位当たりコスト	15	円	0	0	26,540	537,080	543,860	0						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計		20	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源		21	千円	0	38,417	36,146	53,708	54,386	0						
受益者負担比率	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 251

平成29年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費（千円）
(1) 主な取組	改修工事			49,098
	工事監理			770
	物品購入			208
	備品の移転作業			186
	その他（ ）			
(2) 事業実績	平成29年8月の移転、開設を予定していた改修工事でしたが、既存建物の鉄骨の一部にアスベストを含む部材が使用されていることが判明し、工事期間を延長して、施設内全ての当該部材を撤去しました。利用者や近隣住民に対しては「休館の延長のお知らせ」を配布し、丁寧な説明に努め承諾を得て、平成29年10月2日の開館の運びとなりました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	
	今後の予測	
評価と課題	改修工事中に判明したアスベスト建材の撤去を実施したため、開館予定が2か月遅れとなりましたが、それ以外の工事については順調に行うことができました。 改修後のゆうゆう下高井戸館は、1階が受付と事務室、2階が集会室となっているため受付事務と部屋の準備などスタッフの導線の問題、利用者の状況を把握しにくいなど施設構造上、難しい部分もありますが、見回りを頻回に行うなどソフト面で補って運営していきます。	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	
		II 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00684)

事務事業名称			ゆうゆう馬橋館の整備				款	04	項	01	目	07	事業	029	整理番号	253	
現担当課名			高齢者施策課			係名			施設担当係			連絡先電話番号		1153	昨年度整理番号		248
上位施策No・施策名											13 高齢者の社会参加の支援		予算事業区分		投資事業		
事務事業の概要	事業開始		平成28年度														
	平成29年度担当課名		高齢者施策課									事業評価区分		施設維持管理			
	対象		60歳以上の区民、高齢者団体、協働事業参加者			根拠法令等		(1)		杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例							
								(2)		老人福祉法							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		高齢者の生涯現役を応援する地域拠点としてのゆうゆう館を旧高円寺保健センター分室跡地に移転し、集会施設と複合化した新施設を建設、開館する。休館期間を極力短くするために使用していた仮施設の解体工事を行う。			活動指標		指標名(1)		新築工事の進行状況と開館状況							
							指標説明		解体工事の進行状況								
							指標名(2)										
							指標説明										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		集会施設と複合化した新施設の建設工事を平成28年7月～平成29年7月まで実施する。休館期間を極力短くするために使用していた仮施設の解体工事を行う。			成果指標		指標名(1)										
							指標説明										
							指標名(2)										
							指標説明										
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)								
指標	活動指標(1)	1	%	50	50	50	100	100	0	100.0							
	活動指標(2)	2	%		0	0	100	100	0	100.0							
	成果指標(1)	3															
	成果指標(2)	4															
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	29,230	91,149	88,333	129,309	119,867	0	平成29年度予算執行率(%)	92.7						
	(内)投資的経費等	6	千円		91,149	88,333	129,309	119,867	0	特記事項							
	(内)委託費	7	千円	29,162	88,764	87,196	124,460	115,411	0	本事業は平成29年度で終了しました。							
	職員数	常勤職員数	8	人	0.45	0.32	0.36	0.40	0.48	0.00							
		再任用職員数	9	人		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
		非常勤職員数	10	人		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
	人件費	常勤職員分	11	千円	3,936	2,799	3,082	3,425	4,124	0							
		再任用職員分	12	千円		0	0	0	0	0							
		非常勤職員分	13	千円		0	0	0	0	0							
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	33,166	93,948	91,415	132,734	123,991	0								
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	663,320	55,980	61,640	34,250	41,240	0								
	財源	受益者負担分	16	千円		0	0	0	0	0							
		国からの補助金等	17	千円		0	0	0	0	0							
		都からの補助金等	18	千円		0	0	0	0	0							
その他の補助金等		19	千円		0	0	0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円		0	0	0	0	0								
差引:一般財源(14-20)		21	千円	33,166	93,948	91,415	132,734	123,991	0								
受益者負担比率(16÷14)	22	%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 253

平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		新築工事			
		解体工事			35,688
		物品購入			4,456
		備品の移転作業、機械警備の設置と警備委託			109
		その他（ ）			
	(2) 事業実績	<p>ゆうゆう館と集会施設を複合化した新施設を建設し、必要な物品の購入や旧施設からの物品の搬入等による運営準備を進め、平成29年9月1日に開設しました。開館後も行政検査等の指摘事項や近隣住民からの要望による対策工事等に各所管課、営繕課、各施工業者が連携を取りながら対応しました。</p> <p>また、移転までの間に使用していた仮施設の解体工事を行うため説明会の開催、近隣世帯へのポスティングを行い、解体工事を平成29年11月末までに予定通り完了しました。</p>			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	
	今後の予測	
評価と課題	<p>新施設では使用できる部屋数が、2部屋から3部屋へと増えたため、団体活動の場をより多く提供することが出来るようになり、利用者の利便性は向上しました。乳幼児を含む子どもから高齢者まで、多世代が利用できる地域コミュニティ施設への転用・再編整備に向け、関係所管課と連携を取りながらモデルとなる取組を運営団体が主になって取り組んでいます。</p> <p>また、1階のラウンジは、誰でも出入りが自由な場所となっていますが、ふらっと立ち寄れる雰囲気やツールが整っていないため、閑散としていることから、本来の機能が果たされるよう改善策の検討を進めていきます。</p>	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	
		II 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		